

「地域のつどい」が開催されました

(第2回 大口・七島地区)

開催日：平成23年3月13日(日)

場 所：七島西町会館

参加者：56名

第16期神奈川区民協議会の今期第2回目の「地域のつどい」が開催されました。

大口・七島地区は、神奈川区内で大口と聞けば大口商店街がイメージされる、有名な地域です。複数の商店街を含む15の自治会町内会で形成されている地区です。



当日は、3月11日発生の大震災の翌々日だったので、地域の方々の参加が心配されました。それでも大勢の地域の方々にお集まりいただきました。

区民協議会の一連の説明の終了を待ちかまえていたかのように地域の方々の活発な発言をいただきました。その一部を紹介いたします。

- ① 自転車と歩行者の分離。
- ② 地域商店街の活性化のため、大口駅の改善。
- ③ 交差点での子ども、歩行者に対する左折車両の巻き込み、飛び込み対策（ポール等）。
- ④ 大口商店街を自転車で、スピードを出して走る人への対策。
- ⑤ 生ゴミに対する意見4件。
- ⑥ 全市を含む情報伝達として、放送等の提案。
- ⑦ 自治会等の役員のなり手不足。
- ⑧ 今回の地震で痛感。災害時要援護者に連絡を取りたいが、一人では手不足町会の役員とも連絡できない。何か良い方法は。
- ⑨ 地震の時電話連絡が取れない、防災拠点を他連合町会と運営しているので、課題が多い。また、他地域の避難者対応を考えてほしい。
- ⑩ 自分のマンションでは自衛消防隊を作っている。他のマンションでもどうか。各町会でマンションが増えているので、緊急時心配。

等のたくさんの意見、提案をいただきました。

司会者が時間を知らせるまで活発に意見交換がされて、時の経つのを忘れてしまうほどの盛り上がりでした。大口・七島地区の皆様、ありがとうございました。